（羽曳野市立高鷲小学校　参考資料）

◆　単元名　「暮らしの中の政治」

◆　単元の流れ（全 15 時間）

学習活動の流れ	子どもの意識の流れ	◇支援　☆評価
1．自分たちの暮らしと政治のかかわりについて調べる。 （1 時間）	**であい** わたしたちのまちは、どんなまちだろう。 **信号や歩道橋がある。** **公園などの遊び場がある。** **図書館やホール、会議室などがある LIC はびきのがある。**	◇自分の生活によりかかわりの深いことを考えさせる。 ☆教材に関心を持ち、自分たちが知りたいことや疑問を見つけることができる。
2．人々の願いと政治の働きとのかかわりを調べる。 （5 時間） ○住民の願い ○議会・役所 ○税金・選挙 ○ゲストティーチャー	**ふれあい** 住民の願いと政治の働きは、どのようにかかわっているのだろう。 **住民の願いでまちづくりは進むんだね。** **計画をするのは役所の仕事なんだね。** **だれが話し合いを進めるのだろう。** **お金はだれが出すのだろう。** **選挙で住民の代表を決めるんだ。** **そのために税金をはらっているんだね。**	◇羽曳野市政に関する資料等を用意する。 ◇役所などの施設を訪問したり、ゲストティーチャーによる聞き取り活動を行ったりする。 ☆地方公共団体の政治のしくみについて理解する。
3．自分たちの暮らしと憲法のかかわりについて考える。 （6 時間）	**高めあい** 日本国憲法は、わたしたちの暮らしとどうかかわっているのだろう。 **国の政治を決めるのはわたしたちなんだね。** **わたしたちにはたくさんの権利や義務があるんだ。** **戦争をしないって憲法で決まっているんだ。**	☆日本国憲法の三原則について理解する。
4．よりよいまちづくりについて考える。 （3 時間）	**高めあい** よりよい羽曳野について考えよう。 **羽曳野市はみんなにとって住みよいまちなのかな。** **地域の人にインタビューをしてみよう。** **より多くの人の願いを実現させたいな。**	◇インタビューやアンケートによる情報の収集、役所や議会のシミュレーション。 ☆生活と政治の関係について自分の考えをまとめることができる。